
オープンデータ ワーキンググループの取組

～兵庫県電子自治体推進協議会 調査研究事業～

2019.9 兵庫県 情報企画課

要旨

- 1 オープンデータWGの概要
- 2 WGのこれまでの成果
- 3 今後の予定と参画のご提案

1 オープンデータWGの概要

①活用されるオープンデータ（キラーコンテンツ）の公開 ②効率的な運用の実現
を目的に、共同したデータ公開や意見交換を実施

1. 活動開始時期、参画自治体

平成30年度より、県及び14市

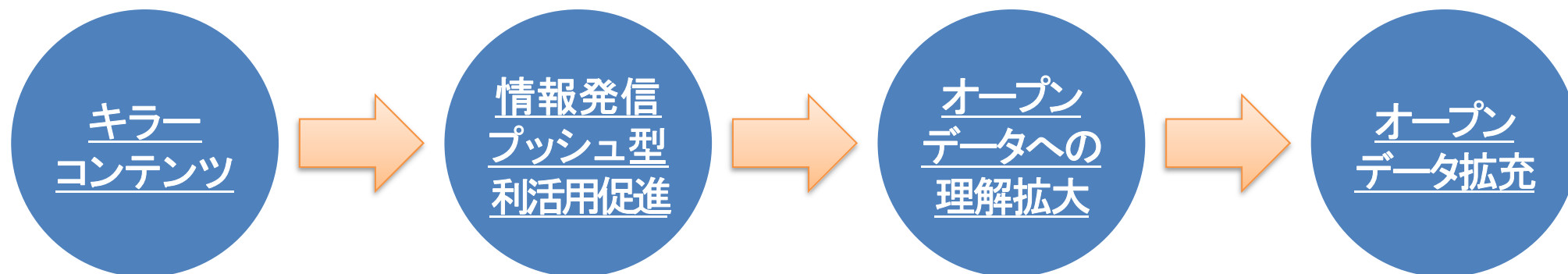
（県、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、赤穂市、宝塚市、高砂市、川西市、三田市、加西市、たつの市）

2. オープンデータに関する課題意識

- ・オープンデータの必要性を関係各所に説明できない
- ・データを公開しても、利活用がなかなか促進されない
- ・効果的に推進するにはどうすればいいのか

3. 取組の方向性

好循環を生み出す取組事例を創出



2 WGのこれまでの成果

①共通データフォーマットでのトライアルデータ公開、②実際のデータ公開作業・情報交換を通じて知見を共有

1. 共通データフォーマットでのデータ公開

G空間情報センター内に図書館のデータセット公開

2. 主な知見

- 原課との調整
 - 原課の作業負担が少ないと円滑に調整できる
 - 情報部門でデータ項目を埋めて原課に確認することで、抵抗なく調整できた
- データの更新
 - 原課 : 更新が滞りがち、原課側にメリットがあれば更新されやすい(例: 食品営業許可)
 - 情報部門 : 理想は原課に任せたい。CMSがない、データクレンジングが困難 等の問題
→ HPとカタログサイトの統合管理の検討
- 位置情報(緯度経度)の取得
 - 一般的に利用される手法は制度が低い → QGISの活用
 - 施設の位置情報について、情報部門が登録、更新を土木もしくは市民課が対応する場合もあり
- ライセンスについて(CC-BYとCC0)

3 今後の予定と参画のご提案

キラーコンテンツが創出される具体的な動き、意見交換を通じて、オープンデータの推進が促進される環境を構築。ぜひご参画ください！

1. 今後の予定

(1) 活用されるオープンデータ(キラーコンテンツ)の公開

① ニーズを把握する

- 大学と連携したデータ利活用事例であれば話が進みやすい → WGで設定予定
- 普段付き合いのあるICT事業者以外の幅広い業種のニーズも聞いて見たい

② 活用事例を自ら創出

「ArcGIS online」を活用したWEBアプリの作成

- 自らプロダクトを作り、目に見える活用事例を確実に創出 → 原課へ働きかけ

(2) 効率的な運用の実現

各自治体で意見交換を希望する内容について、随時共有

次回は近日中に開催予定

他にも、取り組みを希望する課題については随時対応

2. 参画の希望のご連絡・ご質問等は以下まで

兵庫県 情報企画課 高度情報化班 担当:木村

直通TEL:078-362-3040 mail:johokikaku@pref.hyogo.lg.jp